



☀️ コミュニケーションについての再考 ☀️

共和病院 看護部
次長 濱田 久美子

4月から看護部次長職を拝命しました濱田久美子です。今後より一層の責任感を持ち、役割を果たすための努力を重ねて参ります。何卒よろしくお願いたします。

コロナウイルスとの共生生活が3年目を迎えました。コロナ禍以降の日々はとても不安定で、人との距離におびえ、様々な対応での情緒的な消耗が続き、孤立感を感じる事が多くあります。マスクの着用やリモート会議などによる物理的な距離感やコミュニケーションの取りづらさは、そのことを助長しているように思います。最近、行動制限が徐々に緩和される中で、屋外でのマスク着用緩和の動きが広まってきました。私としてはコミュニケーションの不全感が幾分和らぐと前向きに受け止めていたのですが、わが家の中高生とそのことを話すと、不思議と彼らは「別にマスクはしたままで良い」と言います。マスク姿しか知らない同級生が当たり前存在し、大切なことをSNSで伝えあう彼らは、マスクをした状態でのコミュニケーションに特段不自由を感じないようで、本当にそれで良いのかと心配になってしまいます。

日頃のコミュニケーションの中で私たちは、言葉のやりとりだけでなく、視線を交わしたり、表情を通して意思表示を

したり、態度でかくれた意図を表したり、言葉と言葉の間に隠れたニュアンスなども感じ取りながら信頼関係を構築していきます。「文脈を読めるロボットの開発は今世紀中には無理」という話を聞いたことがあります。文脈やニュアンスなども含む非言語コミュニケーションを活用できることは人間らしさであり、そんな人間らしいあたたかみを表現するのに、マスクは壁の一つになっているように感じます。人と人との間における察する文化は相手を思いやることによるものであり、「わかってもらえた」と感じる体験がつながりを強めていくのだと思います。あたたかみのあるコミュニケーションの不足により、つながりが弱体化することのないようにしなければなりません。

私たち医療者には、患者様やご家族の医療に対する複雑な気持ちを正確に汲み取り、患者様の意思に沿ったケアへとつなげていく役割があります。コミュニケーションがとりづらい状況にあっても、例えばマスクでは隠れない目線でより表情を見せたり、声のトーンを一段明るくするなどの工夫を続け、患者様やご家族へ安心感やあたたかみを込めたメッセージを伝えていきたいと思っています。



第13回 共和会研究発表会

3月29日(火) 当院の多目的ホールにて第13回共和会研究発表会を開催致しました。

当初は新型コロナウイルス感染も落ち着いており、久しぶりに例年通り外部の方をお招きしての開催を予定しておりましたが、感染再拡大の為、急遽院内のみの勉強会としての開催となりました。急な変更に伴い、ご参加を予定されていた皆様にはご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。院内での発表となりましたが、少しでも多くの方に発表を見てもらいたいと思いYouTubeでの動画配信も初めて行いました。

今回、看護部4題、地域調整支援部1題、医療技術部1題の全6題の発表を行いました。

アロマにおけるストレスの軽減効果、積極的行動支援チームや病棟での取り組み、PBSTの活動報告はどの演題もわかりやすく、聞きやすく内容の充実した素晴らしい発表でした。

終了後のアンケートでも、「興味深い内容が多い」「院内での様々な取り組みを知る事となり新しい知識を得ることもできた」などの意見がありました。

又、「通常通りの開催を期待します」という意見もありました。第14回共和会研究発表会は例年通り外部の方をお招きしての開催ができることを願っております。



今後も様々な医療・介護等の提供、地域の関係機関との連携に取り組んでまいります。

研究発表会 実行委員長
河田ひろみ

プログラム

1. ラベンダーアロマ芳香浴による
夜勤看護師のストレス軽減の効果
福田 裕一 (看護師)



2. 医療療養病棟における
固定チームナーシング導入
～取り組みの実践報告～
根間 仁美 (看護師)



3. 経口困難な多発褥瘡をもつ患者への
栄養・褥瘡へのアプローチ
上杉 麻衣子 (看護師)



4. デイケア満足度が地域生活の
QOLに与える影響
長嶺 匠 (作業療法士)



5. 積極的行動支援チームの取り組み
～強度行動障害者が地域で
生き生きと暮らすことを目指して～
久留宮 なぎ砂 (作業療法士)



6. 慢性期統合失調症及び
家族への心理教育的アプローチ
～個別のニーズに応じた介入を考える～
松崎 あゆみ (看護師)



認知症でも笑って暮らせるように C-3病棟 福田・宮崎

回想法の取り組み

精神科急性期病棟のC-3病棟では、毎週水曜日に集団回想法『ちょこっと井戸端会』を開催しています。集団回想法とは認知症ケアの一つで、毎回テーマに沿って高齢者が昔を思い出して語り、スタッフも関心をもって話を引き出すことで、高齢者は自信や誇りを取り戻せたり、スタッフは高齢者の新たな一面を知る機会になるというものです。認知症の方の場合、最近のことは忘れがちでも、昔の記憶は鮮明に覚えていることがあります。懐かしい思い出を語る時は、皆さん生き活きとして、いつもとは違う表情を見せてくれます。特に恋の思い出や、苦労話はいつも以上に話に花が咲きます。入院生活は孤独で辛いものになりがちですが、それも貴重な人生の時間の一部です。高齢者の方々が少しでも笑顔になれる時間になればと思ひ、これからも回想法を続けていきたいと思ひます。



認知症ケアチームの発足

当院では昨年度より、認知症ケアチーム「^{かいえんたい}快援隊」が発足しました。快援隊は、認知症高齢者の元気で快適な生き活きとした生活を応援するチームです。現在、事例検討を重ね、今後部署横断的な活動をするための体制作りをしています。

入院は治療が優先されがちですが、私たちは認知症高齢者と関わらせて頂く中で、「最近笑顔がない気がする」「もっと楽しく暮らしてもらうにはどうすればいいだろう?」といった生活の質に着目しています。日々の忙しさに追われていると、なかなか柔軟な発想が出てこない時がありますが、そんな時こそ快援隊と一緒に、ご本人目線で新しいケアを考えましょう!ぜひ、気軽に声をかけてくださいね!



国家資格及び認定資格の合格者を紹介します

精神保健指定医	看護師	准看護師	包括的暴力防止 プログラムトレーナー	医療安全管理者
松田 慶子（診療部）	鈴木 拓哉（A-5病棟）	橋口 椎奈（A-5病棟）	土田 悠登（作業療法課）	新美 真弓（連携室）

作業療法プログラムリニューアル!

作業療法（occupational therapy=OT）とは、リハビリテーションの1つで「作業に焦点を当てたりハビリテーション」です。「人は作業を通して健康や幸福になる」という理念のもとに、食事、入浴、家事、仕事、趣味活動、休息など人の生活に関わるすべての作業を通し、患者様が『してみたいこと』『出来るようになりたいこと』『必要のあること』の実現に向けて支援します。作業療法を行う専門職を作業療法士（occupational therapist）といい、当院でも病棟やデイケア、訪問看護ステーションで活躍しています。

ここでは、精神科病棟に配置し、主に入院中の患者様を対象に作業療法を行う、精神科作業療法についてご紹介します。精神科における作業療法は、個別や集団で行うプログラムを通して患者様に関わります。

その内容は患者様に合わせて様々です。例えば、夜眠れない方や朝起きられない方は活動を通して生活リズムの改善を目指します。また、人付き合いが苦手な方は他者との関わり方の工夫を学んだり、ストレスの対処が苦手な方は休養の取り方や余暇の過ごし方について一緒に考えたりします。

このように様々な患者様の悩みや目標に対応できるよう、今年5月より新プログラムを開始しました。より患者様が選択しやすく参加しやすいプログラムを目指し、以下6つのプログラムを新しく増設しました。入院生活という慣れない環境の中でも、同じ目標を持った方と交流を深め、安心できる場で活動に取り組み、心と体の回復を図りながらも楽しめる場の提供を目指しています。

リラックスサロン

【内容】

ヨガやアロマ、ホットタオルを使って、リラックスする時間を過ごします。

【こんな方におすすめ!!】

- ・リラックス、気分転換がしたい
- ・お家でできるリラックスセッションを知りたい



集中力Up

【内容】

塗り絵やプリント（計算・漢字など）、読書、編み物などにじっくりと取り組みます。

【こんな方におすすめ!!】

- ・集中力をつけたい
- ・生活にメリハリをつけたい
- ・就労復帰に向けて机上活動をしたい



体力Up

【内容】

ウォーキングや卓球、筋トレなど様々な運動を行います。

【こんな方におすすめ!!】

- ・身体を動かしたい
- ・気分転換がしたい
- ・睡眠がとれない



ドリフだよ! 全員集合

【内容】

昔なじみのドリフターズを中心に動画を鑑賞し、楽しい時間を過ごします。

【こんな方におすすめ!!】

- ・思いっきり笑いたい
- ・気分転換がしたい



男子会

【内容】

男性グループでメンズトークを楽しみます。

【こんな方におすすめ!!】

- ・男性だけで楽しみたい
- ・困っていることを他の方に相談したい



女子会

【内容】

ガールズトークやお化粧品などの美容・ファッションを楽しみます。

【こんな方におすすめ!!】

- ・女性だけでゆっくり過ごしたい
- ・美容やファッションを楽しみたい



作業療法を通して患者様自身が持っている力を発揮し、その方らしい生活が送れるようお手伝いできたらと思います。

最後に、今回のプログラムリニューアルは完成版で

はありません。患者様の思いに耳を傾け、ひとりひとりに対応できる作業療法を提供できるよう、これからも改善していきたいと思います。

作業療法課 藤松 昌子

編集後記



連日の暑さに夏バテ気味な私ですが、皆様の体調は如何でしょうか？まだまだコロナ感染は油断出来ない状況が続いていますが、昨年よりは自粛ムードも緩和し出かけられた方も多いのではないでしょうか。私は沖縄に

行きたいと思いつつ、コロナ感染が拡大した事もあり、かれこれ4年行けていません。皆様の旅行の話聞きながら、私も行った気分になりたいと思います。

広報委員会 浦野 博之

フリージアのブログをご覧ください!

共和病院デイケアセンター「フリージア」が発信している「フリージアブログ」を紹介いたします。このブログは2021年の12月から開設しており、デイケア課の職員が毎月1～2回ほど更新しています。

フリージアブログは、「フリージアという存在は知っているけど、どういったことをしているんだろう?」「見学に行ってみたくて少し緊張する」といった方々のために、フリージアで取組んでいることや、実際の雰囲気などを、ブログを通して知っていただき、見学や体験に気軽に来られるようになればいいなという思いから開設しました。

ブログの内容は主に、プログラムの様子、イベントの様子、テラス菜園の状況などを写真付で書いています。その他にも最近あった出来事や、フリージアのプチ情報などを載せていて、少しくスツとなるようなブログになっています。

ブログは病院ホームページから簡単に見られるようになっていきますので、ぜひご覧になって下さい。投稿したら、法人のフェイスブックでもお知らせしていますので、フェイスブックもご確認ください。

職員一同、フリージアでお待ちしております。

調理実習



これは「料理」のプログラムで、調理技能が必要な方を対象に実施しております。協力しながら作った料理はとても美味しいです!

これは調理実習をしているところです。生活支援のプログラムとして、調理技能が必要な方限定で、行っております!コンセプトとして、家にあるもので簡単に作れるものを意識して作っております。献立、お金の計算、買い出し。すべて利用者さんたちでやっております。もちろんスタッフも一緒にやるのでご安心を。..

勉強会!



これは5月に行なわれた勉強会の様子です。毎年、利用者さんに発表していただいております。人前で話すことが苦手な方も、この日のために練習を頑張っていました!

先日、病棟職員におけるフリージアの紹介を利用者さんとしました!前半はフリージアの紹介。後半は利用者さんの声ということで、利用者さん本人が、フリージアに通ってきた趣味や、仲間、自分自身がどう変化してきたかなど、いろいろなことを話してくれました。発表した中には、人前で話すことが苦手な方もいたのですが、発表するだけでもすごいのに質問にも答えており、私、感動しました。また利用者さんと一緒にやれたらいいな~。

..... デイケア課 作業療法士 長嶺 匠

献血にご協力ください

献血バススケジュール

当院には年2回、「献血バス」がやってきます。春と秋を予定しており、今回は5月19日に行ない、たくさんの方にご協力いただくことができました。次回は11月ごろを予定しています。

どなたでも献血していただくことができますので、詳しくは愛知県赤十字血液センターの運行スケジュールをご確認ください。



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- まごころをこめてやすらぎと癒しの提供
- あなたの安心と希望ある地域生活の支援
- それぞれの専門性を活かした最良の医療・介護サービスの提供

私たちが目指す『楽しい職場』とは

- 職員のチームワークと創造性が高められる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が皆様へ反映される職場

基本方針

~当院をご利用の皆様へ~

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報は保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。



特定医療法人 共和会

共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

診療科目

内科・消化器内科・呼吸器内科・神経内科
精神科・心療内科・循環器内科・肛門外科
放射線科・リハビリテーション科・歯科

TEL.0562-46-2222(代)
URL <http://www.kyowa.or.jp/>

★ラジオ番組★

毎月 第2月曜日19:00~19:30

MID-FM 76.1

ラジオパーソナリティー
共和病院 副院長 松下直美

こころの病を持たれている方をはじめとする皆さまに
温かいメッセージをお送りします。是非お聞きください。

おもいやり共利の キラキラチアナイト

当院HPから過去の放送分も聴くことができます。

お知らせ

10月22日(土)第23回共和病院地域医療フォーラムを開催します。
場所/共和病院C館4階多目的ホール